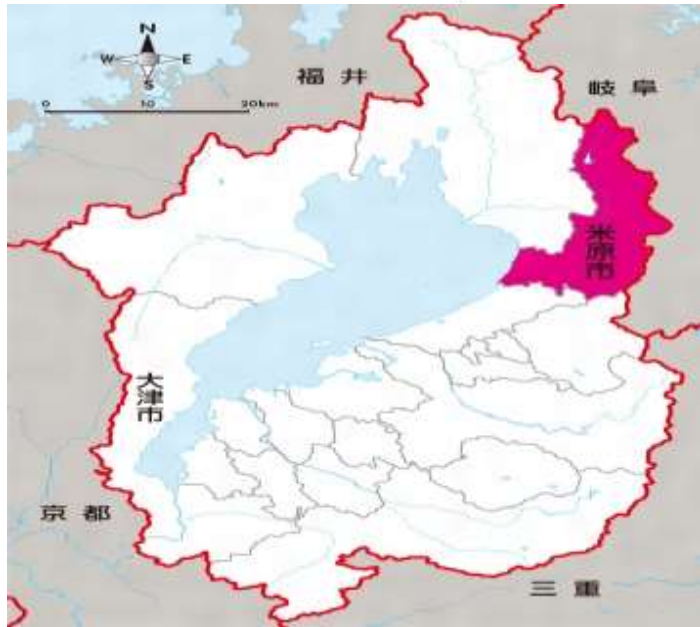
The image shows a large, modern, two-story building with a central courtyard. The building has a mix of brick and light-colored panels. In the center of the courtyard, there is a large, stylized 'V' shaped monument. The sky is blue with some clouds. The text is overlaid on the image in yellow.

米原市地域包括医療福祉センター 「ふくしあ」

センター長 中村 泰之
(滋賀県17期卒)

米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」の位置



湖北圏域
 人口 154,785人
 高齢化率 28.1%

長浜市
 人口 118,676人
 高齢化率 28.5%

彦根市
 人口 112,847人
 高齢化率 24.4%



米原市の人口・世帯数など

H28.10.1現在

	人口	世帯数	高齢者	後期高齢者
米原市	39,788人	14,218世帯	10,989人 (27.62%)	5,873人 (14.76%)

地域 (旧町)	人口	高齢者
山 東	12,425人	3,520人 (28.33%)
伊 吹	5,410人	1,645人 (30.41%)
米 原	11,488人	3,392人 (29.53%)
近 江	10,465人	2,432人 (23.24%)

年	2015年		2025年		2035年	
	人	割合	人	割合	人	割合
総数	39535	100%	37224	100%	34360	100%
0-14歳	5576	14.1%	5044	13.60%	4463	13.0%
15-64歳	23320	59.0%	21411	57.5%	19310	56.2%
65-74歳	5032	12.7%	4676	12.6%	4582	13.3%
75-84歳	3637	9.2%	3880	10.4%	3584	10.4%
85歳以上	1970	5.0%	2213	5.9%	2421	7.0%

湖北圏域の医療環境(二次医療圏図)

市立湖北病院

ケアセンターいぶき

長浜赤十字病院

市立長浜病院

セフィロト病院

精神・認知症疾患センター

ふくしあ(近江診療所)

米原診療所



周辺地域の医療環境

湖北の関わらせていただいている 診療所の配置



米原市地域包括医療福祉センター ふくしあ



《機能》

- 在宅療養支援診療所(近江診療所)
- 通所・訪問リハビリ
- 病児・病後児保育(おおぞら)
- 児童発達支援(ひまわり)
- 放課後等デイサービス(たいよう)
- 保育所等訪問支援(さくらんぼ)
- 児童発達相談支援(ふたば)
- 地域包括支援センター(米原近江地域)

米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」は、保健・医療・福祉サービスを包括的に提供する施設です。
このセンターは、在宅療養支援診療所の近江診療所と病児・病後児保育室おおぞらを備えた「医療センター」と、「児童発達支援センター」の2つの機能を併せ持ち、子どもから高齢者まで全世代型地域包括ケア体制を目指しております。
基本理念として、「つながり」を掲げ、地域や行政、学校、警察などの方とのつながりを大切に少しでも社会のお役に立てるようにしていきます

近江診療所 総合診療



100歳を迎えられた高齢者への往診風景



重症心身障害児への往診風景（訪問リハビリも実施しています。）

《在宅療養支援診療所》

医師と看護師が、心身の状態に応じて自宅へ定期的に(月1回から)訪問し、在宅療養と介護する家族が、安心して毎日を過ごせるように支援します。

夜間や休日も24時間いつでも連絡可能な体制を取り、自宅での看取りを希望される場合には、家族も含めて全面的に支援します。

現在在宅への往診が150/月、施設への往診が170件/月、特別養護老人ホームへの往診が2施設60名となっています。また平成29年度の在宅看取りが35名/年、警察からの要請による検案が20名/年にのぼります。

米原診療所 総合診療



》 小児科・小児リハ・病児病後児保育 おおぞら



《病児保育》

入院の必要はないが、病気の治療中であり集団生活が困難な児童を一時的にお預かりします。

《病後児保育》

病気の回復期にあるが、集団生活が困難な児童をお預かりします。

《定員》 6名

※ただし疾患による

《利用対象》

生後6ヶ月～小学校3年生



《感覚統合療法》

体の動作や感覚に片寄りがある子ども達の弱い部分や好きな感覚などを見極めて、全身を使った遊びや活動を通して発達を促すリハビリです。

» 通所・訪問リハビリテーション

《通所リハビリテーション》

短時間(1時間 20分)の通所リハビリテーションです。



《訪問リハビリテーション》

自宅で快適な生活を送ることができるように、理学療法士・作業療法士が助言・指導を行います。解決すべき問題点を絞り込み、目標を設定しリハビリを行います。



》 児童発達支援センターてらす



《児童発達支援 ひまわり》

ひまわりは、発達に気がかりのある未就学児とその保護者に対し、早期からの療育の場です。

決まった曜日にグループ療育または個別指導を行います。発達の専門知識を持つ保育士と一緒に遊び、遊具を使った運動遊び、粘土や砂場での感触遊び、コミュニケーションを重視したやりとり遊びにより、発達を促します。また臨床心理士などによる子育て方法やお子さんへの向き合い方法についても話し合いを行います。



《放課後等デイサービス たいよう》

小学校から高校生までの特別支援学級や特別支援学校に通う子供達が放課後や長期休暇に通って来る場所です。

» 米原近江地域包括支援センター



《米原近江地域包括支援センター》

高齢者の総合相談窓口で、保健師、主任ケアマネージャー、社会福祉士がいろいろなケースを支援します。



《認知症初期集中支援チーム》

認知症サポート医、看護師、介護福祉士がチームとなり、認知症患者やその家族への支援を行います。

» 施設概要

《所在地》

滋賀県米原市新庄77番地1

《運営形態》

開設者：米原市

運営者：公益社団法人 地域医療振興協会

《医療機器・設備》

レントゲン検査、血液検査、迅速検査(インフルエンザ・アデノ・溶連菌・マイコプラズマ・RS)、超音波検査、内視鏡検査(経鼻・口・下部)、心電図ホルター、血圧脈波、スパイロ、骨塩測定装置、眼底カメラ

皇太子殿下・皇太子妃殿下が御視察されました。 平成30年5月25日（金）

滋賀県へ行啓訪問された両殿下は、当センターの概要と療育教室での絵本の読み聞かせ、小児リハビリテーションの風景をご覧いただきました。

特に、往診・訪問診療数の多さに感心され、こうした診療所が地域に必要だとおっしゃっていただきました。また、療育や小児リハビリでは、一人一人にお声掛けいただき和やかな雰囲気での御視察となりました。



米原地域で求められている医療

1. 現状と課題

○医師不足

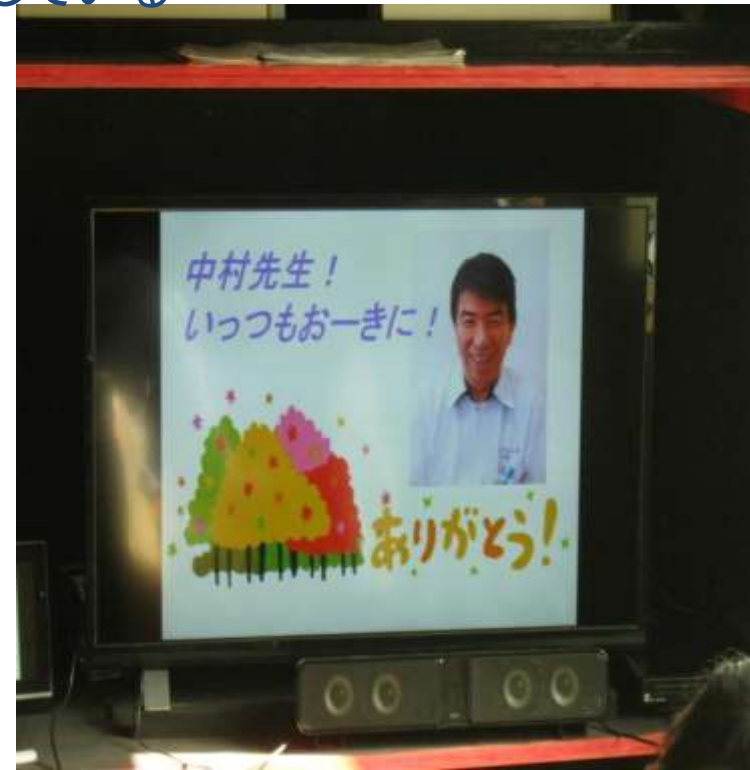
- ・開業されている先生方が高齢化し、後継者が居ない
- ・病院への赴任医師も少ない、診療科が減少している現状
- ・在宅に対応できる医師の不足

○重症心身障害児(者)の在宅人数の増加

- ・通院している専門医療機関が湖南に集中している
- ・人工呼吸器もつけておられ、往診が必要

2. 求められている医療

- 年齢、疾患を問わず対応できる医療
- 身体だけでなく心の問題にも対応する医療
- 施設内だけでなく地域に出ていく医療
- 地域のいろんな機関(役所、警察、学校、各種看護・介護サービス事業所、商工会、地域自治会等)とつながりを持てる医療



地域の環境



坂田駅の周辺は、新興住宅団地で構成され、大型スーパーや飲食店、小学校、などがあり、生活する上で、必要なものは全て揃っています。

少し離れた(2km)当施設周辺には、市役所、図書館、中学校があります。

居醒の清水

名 所

伊吹山



琵琶湖の源流である「水源の里 まいばら」

- ・居醒の清水は、平成の水百選の選ばれ、水中花である梅花藻が咲いています。
- ・滋賀県最高峰の伊吹山には、珍しい花が咲いています。

地域とつながることが楽しみに！

その地域、その場所によって求められることは違ってきます。赴任させていただけたことに感謝して、その場所で、その時に自分がさせていただけることを精一杯、楽しみながら働くことを目指してみてください。楽しいですよ！



カナダ マギール大学から



往診でお母さん、訪問看護師さんと